

**日程第6 請願第13号 75歳以上の医療費
窓口負担の2割化実施の中止を
求める請願について**

○議長(小林 弘君)日程第6 請願13号 75歳以上の医療費窓口負担の2割化実施の中止を求める請願について を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。

文教厚生委員会委員長、3番 南出君。

〔3番(南出昌彦君)登壇〕

○3番(南出昌彦君)それでは、委員長報告をさせていただきます。

委員長報告。去る12月9日の本会議において本委員会に付託された、請願第13号 75歳以上の医療費窓口負担の2割化実施の中止を求める請願について を審査するため、12月14日に委員会を開催し、慎重審査の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決しましたので、以下、その概要を報告します。

請願第13号の趣旨は、2021年6月4日、参議院本会議で、一定の所得がある75歳以上の後期高齢者の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げる医療制度改革関連法が可決・成立したことに対し、2割負担導入による現役世代の負担軽減効果は月額30円程度であることや、コロナ禍で経済的に疲弊している中で、医療費の負担増は、さらなる高齢者の受診控えを招き、健康や暮らし等に大きな影響を及ぼすことから、国に対し、75歳以上の医療費窓口負担の2割化実施を中止することを求める意見書の提出を求めるものである。

委員から当局に対し、医療費窓口2割負担導入後の激変緩和措置について ただしがあり、施行後3年間は通院の窓口負担増加額は、最大月額3,000円に収まる措置が取られるとの答弁がありました。

請願紹介議員に対し、医療費窓口2割負担導入について日本医師会はどのような見解を示しているか とのただしがあり、高齢者の受診抑制を招くため、日本医師会も2割化に反対をしている との答弁がありました。

討論に入り、採択することに反対の立場から、後期高齢者医療制度を安定して継続していくことが必要であり、今後、後期高齢者が増えていく中で、現役世代にかかる負担も考えなければならない。世代間の公平性も考え、一定の収入においては自己負担も必要であるため本請願に反対する との討論がありました。

採択することに賛成の立場から、日本医師会は「後期高齢者は一人当たり医療費が高いため、年収に対する患者一部負担の割合は既に十分高い。患者一部負担割合の引上げによって受診控えのおそれがある。たとえ受診したとしても患者負担が重荷となり、必要な医療を遠慮する懸念がある。コロナ禍での受診控えによる今後の健康への影響が懸念される中で、さらなる受診控えを生じさせかねない」との見解を示している。また、2割化による現役世代の負担軽減効果は月額30円程度しかない。高齢者世帯の約7割が公的年金で暮らしており、その年金が8年間で6.4%も減らされている。高齢者の暮らしと健康に対する不安が高まっているため、本請願に賛成するとの討論がありました。

以上、委員長報告とさせていただきます。

○議長(小林 弘君)ただ今の委員長報告に対する質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(小林 弘君)質疑がありませんので、

質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論する方ありませんか。

7番 阪本君。

○7番（阪本久代君）おはようございます。

委員長報告は不採択でしたけれども、採択することに賛成の立場で討論を行います。

75歳以上の医療費窓口負担を2割化するの
は、現役世代の負担や公費の支出を圧縮し、
世代間の公平を保つのが目的ですが、日本医
師会が全世代型社会保障検討会議に提出した
資料によりますと、収入に占める医療費の比
率は1割の現在でも、現役世代よりも75歳
以上の方が圧倒的に高いです。また、2割化
しても現役世代は月約30円負担が軽減する
だけです。医療生協さいたまによるアンケート
調査では、「医療費の支払いが苦しく受診を
ためらった経験がありますか」という問いに
対して、単身200万円以上で3割以上が受
診をためらったと答えています。そして、「収
入にかかわらず2割化になったら医療費は
負担か」の問いに、約7割の方が負担と回
答をしています。2割化によって受診抑制
が起これば、命に直結する重大問題です。
重篤化を招いたら、さらに医療費の増大
につながります。

高齢者世帯の約7割は、毎年減らされる
公的年金のみの生活です。介護サービス費
用負担もある高齢者は少なくありません。
高齢者世帯と若年世帯の医療費負担の公
平感を求めるのはおかしいと思います。
コロナ禍で多くの国民が困窮し社会保
障の充実が求められている中で、社会保
障の切捨ては許されません。高齢者の
暮らしと命、健康、人権を守るために、
本請願を採択することに賛成します。

○議長（小林 弘君）ほかに討論する方
ありませんか。

1番 岡本君。

○1番（岡本安弘君）委員長報告に賛成の立

場で討論をさせていただきます。

先ほどからのお話の中で、医療費窓口負担
が1割から2割に引き上げられると、さら
なる高齢者の受診控えを招くというよう
なお話もございました。それについては一
定理解できるところではありますけれど
も、やはり今後、後期高齢者が増加して
いく中で、この後期高齢者医療制度を安
定かつ継続して運営していくことが重要
であります。そのためには、一定収入の
ある方については自己負担もやむを得な
いのではないかとということから、委員
長の報告に賛成とさせていただきます。

○議長（小林 弘君）ほかに討論する方
ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小林 弘君）ありませんので、こ
れをもって討論を終結いたします。

これより請願第13号 75歳以上の医療費
窓口負担の2割化実施の中止を求める請
願について を採決いたします。

委員長報告は不採択であります。

本請願を採択することに賛成の諸君の
起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（小林 弘君）起立少数であります。

よって、請願第13号は不採択に決ま
りました。